

## 第9次富山県職業能力開発計画における【目標指標】の設定について

### ■基本的施策1：高度・先端的なものづくり分野の人材育成

#### ●「若い研究者を育てる会」(\*)の共同研究に参加した企業の研究者数

5年前 H18	現状 H22	目 標	
		H27	目標の考え方
77人	112人	150人	先端的なものづくりを担う若い人材の育成支援を充実し、過去5年間で踏まえ、今後も年7人程度の増加を目指します。

(\*) 県内の中堅企業14社で構成。毎年設定する研究テーマに対し、工業技術センター等で合同研究を推進。

#### ●能力開発セミナーの受講者数

5年前 H18	現状 H22	目 標	
		H27	目標の考え方
706人	1,553人	1,800人	企業ニーズを踏まえた訓練の充実を図り、平成19年度に開設したオーダーメイド型訓練を、現状の5割増しの1,500人までの拡充をめざします。また、レディメイド型訓練を含め、全体として1,800人規模の在職者訓練の受入れを目指します。
うちレディメイド 706人	うちレディメイド 458人	うちレディメイド 300人	
うちオーダーメイド -	うちオーダーメイド 1,095人	うちオーダーメイド 1,500人	

#### ●県立学校全日制工業科高校生のインターンシップ(\*)体験率

5年前 H18	現状 H22	目 標	
		H27	目標の考え方
体験者数 589人	体験者数 989人	体験者数 1,025人	工業科においては、インターンシップを「ものづくり人材育成」に直結するものと位置づけ、過去5年間で100%に近い体験率となったことから、今後ともこの体験率の維持を目指します。
体験率 51.3%	体験率 96.5%	体験率 現状維持	

(\*) 3年生の体験状況。高校3年間の体験生徒数と3年生全体に占める体験者の割合を記載。

### ■基本的施策2：産業構造の変化に柔軟に対応する人材育成

#### ●県内ニーズを把握しながら、今後、必要に応じて目標指標を設定します。

### ■基本的施策3：職業生涯を通じたキャリア形成支援の充実

#### ●高校生のインターンシップの推進

5年前 H18	現状 H22	目 標	
		H27	目標の考え方
体験者数 3,599人	体験者数 4,576人	体験者数 4,900人	受け入れ先企業の開拓等により、職業系専門学科及び総合学科は100%に近い体験率を維持し、普通科等は体験率50%を目標とし、全体では70%を目指します。
体験率 47.0%	体験率 66.6%	体験率 70%	

#### ●大学生等のインターンシップの参加学生数

5年前 H18	現状 H22	目 標	
		H27	目標の考え方
714人	917人	1,100人	産学官の連携によりインターンシップを拡充し、過去5年間と同程度の伸びを目指します。

#### ●富山県若者サポートステーションでの通所型ジョブトレーニング参加者の就職率

5年前 H18	現状 H22	目 標	
		H27	目標の考え方
21.4%	19.2%	25.0%	ニート等の若者の自立を促進し、訓練期間(最長20週間)中の就職決定者の割合を現状の参加者5人に1人から、4人に1人を目指します。

## ●デュアルシステム訓練の受講者数

5年前 H18	現状 H22	目 標	
		H27	目標の考え方
受講者数 23人	受講者数 57人	受講者数 100人	年長フリーターに対するきめ細かな就職支援を行い、現状の2倍程度の拡大を目指します。
うち施設内訓練 5人	うち施設内訓練 13人	うち施設内訓練 20人	
うち委託訓練 18人	うち委託訓練 44人	うち委託訓練 80人	

## ●障害者の職業訓練の受講者数

5年前 H18	現状 H22	目 標	
		H27	目標の考え方
20人	50人	75人	個々の障害の態様に応じた民間教育訓練機関等の委託訓練を拡充し、現状の受講者の5割増を目指します。

## ■基本的施策4：雇用のセーフティネットとしての職業能力開発（離職者訓練）の推進

## ●離職者の職業訓練生の就職率

5年前 H18	現状 H22	目 標	
		H27	目標の考え方
施設内訓練 74.3%	施設内訓練 71.5%	施設内訓練 80%以上	離職者の就職支援をさらに拡充し、厳しい雇用情勢下においても全国上位となる高い就職率を目指します。
委託訓練 76.8%	委託訓練 68.1%	委託訓練 70%以上	

## ■基本的施策5：技能の振興・ものづくりを支える機運の醸成

## ●技能検定の合格者数及び合格率（基礎級を除く）

5年前 H18	現状 H22	目 標	
		H27	目標の考え方
合格者数 1,738人	合格者数 1,443人	合格者数 1,500人	労働力人口が減少する中においても、高校生や若い技能者の受検を促進し、現状以上の合格者数と合格率50%以上を目指します。
合格率 42.9%	合格率 44.1%	合格率 50%以上	

## ●技能五輪の参加者及び上位入賞者数

5年前 H18	現状 H22	目 標	
		H27	目標の考え方
参加者数 5人	参加者数 5人	参加者数 10人	若い技能者が意欲的に技能向上に取り組む機運を高め、現状の参加者数の2倍を目指すとともに、優勝を目指します。
上位入賞者 3位1人	上位入賞者 2位1人	上位入賞者 優勝	

## ■基本的施策6：職業能力開発の推進体制の整備

## ●職業能力開発推進者の選任数及び選任率

5年前 H18	現状 H22	目 標	
		H27	目標の考え方
1,531人	1,736人	2,000人	企業の職業能力開発力向上のための啓発に努め、過去5年間の増加率以上の選任を目指します。
うち100人以上の 事業所 318人	356人	400人	
選任率 53.4%	58.0%	65.0%	